

緊急要請質問書

原発立地の首長として「権限と責任」をはき違えないでください “100万円”受領の町長に 住民の命と暮らしを預かる資格なし

2020年1月27日

玄海町長 脇山伸太郎 様
玄海町議会議員 上田 利治 様

1月23日、脇山町長が福井県の建設会社「塩浜工業」から町長当選祝い金として現金100万円を受け取っていたことが発覚した。昨年来、関西電力の原発マネー問題が報じられてきた中で、「玄海でもか」と憤りを禁じえない。

報道によれば、町長は「賄賂をもらったような気分だった」、「政治資金規正法も問われれば仕方がない」、「(関西電力の報道がなければ)人間だから使っていたかもしれない」「脇が甘かった」などと述べた。

なぜ、受け取りを拒否しなかったのか。なぜ、ただちに返却しなかったのか。昨年9月に関電問題が発覚した時に、なぜ何も対処せず、公表もしなかったのか。

町長自ら「賄賂」と発言しているように、違法行為の疑いは濃厚である。

そもそも原発事業は立地当初からあらゆる産業が関わり、膨大な利権の中で推進され、腐敗の温床ともなってきた。今回の問題を機に玄海町は原発マネーに関するすべてのことを公表すべきである。

昨年12月2日に私たちは役場にて「関電事件のような業者からの金品の受領はなかったか？」と調査回答を求めたが、今日まで回答を得ていない。

本日、町議会では全員協議会を開き、町長が説明をするというが、なぜ非公開で行うのか。不信の念はますます強まるばかりだ。

原発はひとたび大事故を起こせば放射能をまき散らし、取り返しのつかないことになる。東京電力福島第一原発事故から学んだのではなかったのか。その犠牲を真摯に受け止めなければならない。

原発稼働の同意権を持っている玄海町長は、町民はもとより、全国の人々の命と暮らしを預かっている立場と責任の重さを認識すべきである。

九州電力は玄海原発の使用済み核燃料について、リラッキングと乾式貯蔵施設建設を進めようとしているが、玄海の地が永久に核のゴミ捨て場になりかねない。また、今年9月にはプルサーマル運転の3号機から危険な使用済みMOX燃料が出てくるが、この処理方法は何も決まっていない。

これら原発の重大な問題のたびに町長の判断が迫られる。住民の安心した暮らしが失われないよう、原発マネーで間違った判断をしないよう強く求める。

【要請事項】

- (1) 今回の 100 万円受領問題について、事実経過をすべて明らかにすること。
- (2) 今回の件以外で、原発関連業者などからの金品受領について、町役場の全職員と全議員について、徹底調査の上、公表すること。
- (3) 玄海原発稼働同意を撤回すること。

【質問事項】

- (1) なぜ、受け取りを拒否しなかったのか。なぜ、ただちに返却しなかったのか。
- (2) 塩浜工業は 2014 年 8 月以降、年末年始は岸本英雄前町長に挨拶に訪れ、玄海原発テロ対策施設の工事に参入したい趣旨の話をしていたという。岸本氏の後継として支援を受けて町長に当選した脇山氏が、選挙応援までした同社のことを「知らなかった」というのはあまりに不自然である。塩浜工業の選挙応援は誰が窓口となり、どのように対応したのか。
- (3) 2019 年 9 月 27 日の関電の原発マネー還流事件発覚後、町役場でどのような調査をしたのか。しなかったのであれば、なぜか。
- (4) 本日、町議会では全員協議会を開き、町長が説明をするというが、なぜ非公開で行うのか。

※ 以上、1 週間以内の回答を求める。

あしたの命を考える会／今を生きる会／玄海原発対策住民会議／玄海原発反対からつ事務所／玄海原発プルサーマルと全基をみんなで止める裁判の会／原発知っちよる会／原発を考える鳥栖の会／さよなら玄海原発の会・久留米／戦争と原発のない社会をめざす福岡市民の会／脱原発電力労働者九州連絡会議／たんぽぽとりで／怒髪天を衝く会／東区から玄海原発の廃炉を考える会／陽だまりたんぽぽの会／福岡で福島を考える会／プルサーマルと佐賀県の100年を考える会

連絡先団体: 玄海原発プルサーマルと全基をみんなで止める裁判の会
佐賀市伊勢町2-14 TEL:0952-37-9212 / 090-3949-2103